

5 校内研修

1 研究主題

基礎的・基本的な学力の定着を図り、主体的に学ぶ児童・生徒の育成

～ICT の活用と授業改善の実践を通して～

2 主題設定の理由

近年の社会は、新しい知識・情報・技術があらゆる領域での活動の基盤となっている知識基盤社会と言われており、AI、ビッグデータ、IOT 等の先端技術が高度化し、あらゆる産業や社会生活に取り入れられ、社会の在り方そのものが、劇的に変化する時代の到来が予想されている。このような急激な変化が進む中、子ども達が変化を受け止め、予測困難な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を確実に育成することが学校教育においても一層求められている。

昨年度から小学校で、そして今年度から中学校で全面实施される新学習指導要領においても、これら予測困難な未来を生きる子ども達に必要な力を「知識・技能の習得」、「思考力・判断力・表現力の育成」、「学びに向かう力・人間性等の涵養」の3つの柱で再構成し、主体的で対話的で深い学びのある授業改善を実現することを学校教育に求めている。

本県においても「未来みやざき創造プラン」において、「目指す県民像」を、「夢や希望を抱き、生涯にわたって自己実現を目指す人、ふるさとを愛し、地域や社会の発展に主体的に参画する人、グローバルな視野をもって活動する人」と設定している。本市も「新時代を生きぬく『4つの学ぶ力』を育てる日南教育」をスローガンに掲げ、子ども一人一人に必要な資質・能力を明確にしている。

本校は、『豊かな心で、自ら学び考え、たくましく生きていくことができる子どもの育成～小中一貫した連続性のある教育活動の推進～』を教育目標に掲げる小中一貫校である。子ども達は素直で明るく、生活態度も落ち着いており、行事等で小中学校が合同で行うこともあり、教職員も子ども達も小中学校の垣根を越えて協働する姿がよく見られる。しかし、学習面においては、真面目に授業に取り組む児童・生徒が多い一方、受け身の児童・生徒が多く、今学習している内容が、自分の目指す将来にどのようなつながっているのかを考えたり、将来、社会に出たときに必要とされる資質や能力とはどのようなものであるのかを考えたりするなど、深く考えることなく日々の授業を受けている児童・生徒も少なくない。

そこで、それら本校の児童・生徒の実態を踏まえ、ICT を活用した授業改善に教師が取り組むこととした。まずは教師自らが、目指す児童・生徒の育成のためにつながる授業を実践できているかを、授業改善のチェックポイントを活用することで振り返り、見直すことから始めたい。更に、タブレット等 ICT 機器を授業に活用することで、児童・生徒の興味・関心を高めることはもちろん、自らが課題意識をもって、更に探究していこうとする姿勢を高める活動にもつなげたい。これからの取組みを通して、児童・生徒の基礎的・基本的な学力の確実な定着を図り、児童・生徒の自己肯定感と学びに向かう力を高めることで、自分の将来に対し、主体的に考え、未来を切り拓いていこうとする児童・生徒が育んでいけると考え、本主題を設定した。

3 研究の目標

児童・生徒の基礎的・基本的な学力の確実な定着と、主体的に学ぶ児童・生徒の育成

4 研究の仮説

授業改善の視点から教師が個々の授業の在り方を見直すとともに、ICT を活用した取組みを小中学校で連携し、継続的に実践すれば、児童・生徒の基礎的・基本的な学力の定着が図られ、主体的に学ぶ児童・生徒の育成につながるだろう。

5 研究の内容

- (1) 4+4のチェックポイントをもとにした教師の授業改善
- (2) タブレット等 ICT 機器を活用した授業研究と授業実践
- (3) 研究授業（小学校・中学校）を軸とした授業研究会

(4) 全国学力学習状況調査の結果の分析

6 研究の全体構想図



7 研究計画

月	日	研修形態	内容
4	5	第1回全体会	○ 昨年度までの校内研究概要説明 ○ 主題・内容・今年度の研究の方向性の確認と提案 ○ アンケート実施
	9	第2回全体会	○ 主題・内容の決定と提案
	28	第3回全体会	○ ICT活用研修
6	9	第4回全体会	○ 授業改善とICT活用についての提案（アンケート結果より） ○ 指導案形式の提案 ○ 研究授業の在り方についての提案
7	未定	第5回全体会	○ ICT活用研修（実践例の発表と共有）
8	未定	第6回全体会	○ 指導案形式の提案 ○ 授業改善とICT活用についての研修① （個人研修：2学期にむけての授業実践例を検討）
9	8	第7回全体会	○ 研究授業の指導案と授業内容についての検討（校種別）
	未定	研究授業	○ 授業研究会
10	20	第8回全体会	○ 授業研究会のまとめと今後の方向性説明
11	24	第9回全体会	○ 授業改善とICT活用について②（個人研修）
12	24	第10回全体会	○ 授業改善とICT活用について③（個人研修）
1	26	第11回全体会	○ 今年度のまとめと次年度にむけての課題の整理
2	24	第12回全体会	○ 今年度のまとめと次年度にむけての課題の整理
3	25	第13回全体会	○ 次年度に向けての課題まとめ

※ 夏季休業中の研修の日にちについては、現在調整中のため『未定』

※ 研究授業の日程については、9月を予定しているが、変更になる可能性がある

※ みやざき学習状況調査と全国学力・学習状況調査の結果分析については、小中の研究主任で行う

※ 研究を進めていく中で、児童生徒の実態等によって、研修計画の内容が変わる可能性がある